

山梨県 桃の会

HP <https://momonokai.org> E-mail meri-sannokuni@softbank.ne.jp

会報第69号

歩む

「歩」は「止」と「少」から出来ています
立ち止まっては祈る、祈っては、また少しだけ前に進む
それが「歩く」ということなのだろう。
(吉野弘さんの詩から)

「立ち止まり、少し進む」ということを、スピードと効率を求められる社会で
私たちは何処かに置き忘れてしまった・・・そして、多くのものを失った気がする。
目立たないが少しの前進こそがとても大事なことで
それが未来に繋がる確かなものになるかもしれない。



出会う、つながる、わかちあう

K H J 全国ひきこもり家族会連合会 山梨支部

ピア Voice



ピンチをチャンスに!

10年、20年、30年と家に滞在する長期化は、親の高齢化と共に、体力とエネルギーの消耗、経済的不安など家族の心理的負担は想像以上であろうと思う。そういう中で時間の経過が長くなるに連れて、その生活が定着してきて、諦めの感覚に陥ることもあるかもしれない。しかし、それは彼らの変化を気付きにくくしてる場合があるのではないかと思う。そうすると正常な判断ができなくなり彼らの心の動きを見失ってしまわないかと思うのである。子供の方からの小さな問いかけでもそれを糸口に何気ない日常会話に繋げることができるかもしれないし、親にとっては全く興味のないゲームであったり、ファッションの話題であっても彼らが興味を持っている世界に少し近づくと彼らの新たな一面を知ることになるだろう。とにかくチャンスを逃さないことと「これからどうするか」をいつも問い続け考えることだと思う。あきらめの感情とマイナス思考は何ものも生みださないし、残されている良い方向性の芽を摘みとってしまうように思う。何事においても自分の心の方向が結果を作り出していくことは間違いないだろうから・・・。親がいつも緊張感を持って生活するのは難しく限界がある。しかし、彼らが「どんな気持ちでいるのか」「何故そのような行動をとるのか」想像を膨らませてみたい。冷静に心の動きをしっかりと捉えていたい。それが彼らを「理解する」ということではないかと思うからである。

sino 



会報ができるまで

皆さまには、いつも会報を読んで頂き有り難うございます。

桃の会にとって、私にとっても、会報発行はとても大事な仕事とっております。何故なら「ひきこもる」ということの正しい理解と家族、当事者の思いをできるだけ多くの人に知って貰う必要があるからです。そして「ひきこもること」は社会全体の問題であることも発信しなければという思いがあるからです。

月例会が終わるとすぐに作成に取りかかります。内容は月例会などで皆さんと関わる中で決めていきます。悩みに悩みながら文章を書いておりますが、私の内容は親子さんにとって厳しいものになりやすい傾向があり、お許し願いたいと常々思っております。紙面のレイアウトなどは、黒子に徹している井口みどりさんが担当しております。私の硬い文章を和らげて下さり、手直しも何度もお付き合い下さりとても有難い存在です。この連携なくして、会報作成はスムーズに進まないし継続不能になるでしょう。

印刷は甲府のボランティアセンター及び北杜市役所高根支所で行います。その後、切手貼り、宛名貼り、用紙を折り込み封入となります。160通ありますので一人の作業ですとかなり大変なことになります。2人～3人の方にお手伝い頂いて流れ作業で行うと、本当に大助かりです。郵便局に持って行って手渡しした時、ほっとする瞬間でもあり、私にとっての喜びの時でもあります。

本当はもっと沢山の皆さんの声を載せたい!と、いつも考えています。短い文章でも構いません。皆さんの言葉で皆さんの声を載せていきたいと思えます。是非皆さんの「声」を寄せて下さい(名前は匿名に致します)メール、手紙など篠原までどうぞ宜しくお願い致します。(篠原)

E-mail meri-sannokuni@softbank.ne.jp 〒391-0000 茅野市豊平泉グリーンヒルズビレッジ200-101 篠原博子まで

** お知らせ

やまなし就職氷河期世代活躍支援プラットフォームの設置について

就職氷河期世代(概ね平成5年から平成16年)はバブル崩壊後の雇用環境が厳しい時期に就職活動を行った世代で、希望する就職ができず、現在も、不本意ながら不安定な仕事に就いている、無業やひきこもりの状態にあるなど、様々な課題に遭遇している方は全国で100万人に上ると見込まれています。

こうした就職氷河期世代が抱える課題を踏まえて、山梨県と山梨労働局は就職氷河期世代の方の就職、正社員化や社会参加の実現などに向けた取り組みを官民一体となり推進するため経済団体、労働団体、支援機関などで構成する「やまなし就職氷河期世代活躍支援プラットフォーム」を設置します。

支援の対象者として

- 1.不安定な就労条件にある正規雇用を希望していながら不本意に非正規雇用で働いている
- 2.長期にわたり無業の状態にある
- 3.社会参加に向けた支援を必要とするひきこもり状態にある、生活困窮者、社会参加を希望する長期無業者、就労支援だけではなく福祉的な支援を必要としているなど

プラットフォームの設置は厚生労働省の施策として全国的に展開されるもので、桃の会のような民間団体も構成員として加わります。5月に1回目の話し合いが予定されていましたが、新型コロナウイルス感染拡大の為開催できませんでしたのでまだ案として提示されたものですが、これからの話し合いの経過をお伝えしていきたいと思えます。

誰もが見捨てられることのない、細やかな支援を願っています。



赤い羽根募金助成金で桃の会パンフレット作成中

会の活動をより多くの人に知って頂く為に、会の取り決めや、活動の内容や理念、家族会の必要性などをまとめた**桃の会のパンフレット**を作成中です。まだまだ沢山の方が見えない所で悩み苦しんでいると思えます。

何とかそういう方たちに届いて欲しいという思いです。

出来上がりましたら、皆さんに郵送させていただきますので楽しみに！



会費納入の御礼

月例会を三回にわたって休止する中で、会費納入のお願いをさせて頂くことになりましたが多くの方から早速温かいメッセージと共に納入頂き皆さまからの目に見えぬ力と応援に言葉では言い尽くせぬ喜びを感じております。

とても有り難く皆さまのご厚意に感謝すると共に、厚く御礼を申し上げます。

今後も共に悩み、共に考え、共に喜び合える会として活動してまいりたいと思えます。

(篠原)

6月の月例会、当事者スペース、はお休みします ミニトークは開催します!

新型コロナ感染状況が小康状態になってまいりましたが、まだまだ油断出来ない状況です。月例会、当事者スペースは連続4回目の休止になります。ミニグループトークは、参加者が少人数であることと短時間でありますので十分に配慮しながら開催したいと思います。

私自身、長い自粛生活の中で人との関わりと活動が制限されることは非常に孤立感を増すものであることを実感しております。

外出が出来にくい中で、家族の中で問題が深刻化することはなかったでしょうか?

今回はミニグループトークだけの開催ですが、少しでも話すことで気持ちが軽くなるのではないのでしょうか何か良い知恵が浮かぶかもしれません。何かテーマを決めて話すのも必要なことはありますが、日常の何気ない話しができたらと思います。そういう中で自分の本当の思いが自然に話されていくのではないかと思うからです。そんなことを大事にしながらの2時間のトークにできたらと考えています。是非お出かけ下さい。消毒、マスク、間隔をあける、風通しをよくするなど感染には十分配慮しながら行いたいと思います。皆さまも是非ご協力を宜しくお願い致します。



6月ミニグループトーク

* 日時 6月27日(土) 10時~12時

* 場所 福祉プラザ 4F 会議室

少人数でゆったりとお互いに語り合う場です。参加費は500円です(当事者は無料)

農園でギャザリングしよう!

画55㎡(約17坪)1年間 市民農園:1区6.000円
場所:甲府市七沢町
友達、家族などで一緒に畑で過ごしませんか!
お問い合わせ:055-243-0261(相良農園)

すみれ会

6月の集まりは、コロナウィルス感染予防の為
お休み致します。宜しく申し上げます。
お問い合わせ:090-5416-8748(清水)
*すみれ会は桃の会とは別に地域で
活動している家族会です

自然の中で農作業(さくらんぼ・西洋梨)に関わりながら小さなつながり、小さな一歩へのお手伝いが出来ればと思います。
作業は受粉、果実の摘み取り、草取りなど(時期により内容が変わります)

岩原果樹園 北杜市高根町堤669-2(090-8178-8031) HPがありますので岩原果樹園で検索して下さい!



7月の予定

月例会 7月19日(日) 福祉プラザ 4F会議室
当事者スペース 7月19日(日) 福祉プラザ パソコン室
ミニトーク 7月26日(日) 福祉プラザ 4F会議室

**中止の場合は 会報、HP、にてお知らせ致します!

お問い合わせ TEL&FAX 0266-55-5411 090-6190-8677 桃の会事務局